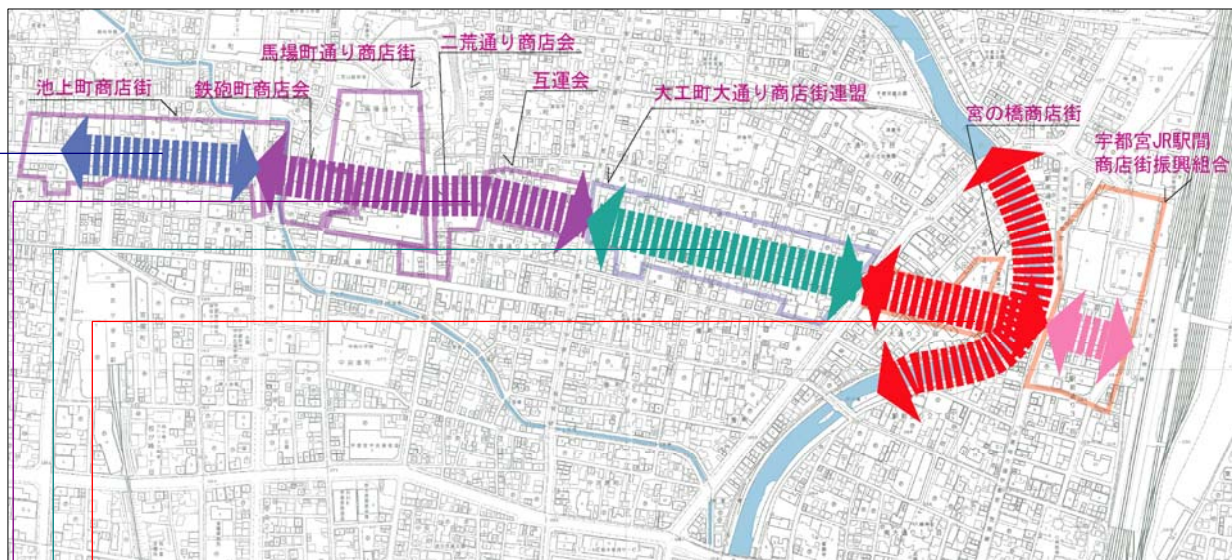


Ⅲ 地区別景観づくりの目標と方針

■ 地区区分

大通りを、沿道の土地利用および街並みの特性から、以下の5地区に区分し、現在市街地再開発に向け勉強会を開催している「駅西口地区」を除く4地区について、次頁以降に「景観づくりの目標」、「景観づくりの方針」を示します。



1. 宮の橋地区 上河原交差点～宮の橋、田川沿い 【P27～35】

2. 大工町地区 宮島町交差点～上河原交差点 【P37～45】

3. 馬場地区 本町交差点～宮島町交差点 【P47～59】

4. 池上町地区 池上町交差点～本町交差点 【P61～69】

「地区別の景観づくりの目標と方針」の構成

地区別の景観づくりの目標と方針は以下の構成となっています。

1. 宮の橋地区

■地区
宮の橋—上河原通り交差点

■立地
宮の橋商店街、小保町自治会、上河原町自治会

■景観特性

○JR宇都宮駅から二荒山神社へ臨む場合、本地区は大通りの玄関口・顔にあたります。
○大通り沿道の由来の建込みを今に伝える、伝統木造建築物の建込みが残ります。
○寺院、駅前等歴史的建造物が立ち並ぶ。
○田川沿いの古い町並みが残っています。

■景観づくりのキーワード

地区の土気・歴史、**〇い・い・い**

△大通り沿道の歴史・景観
△寺院の景観
△田川の景観
△宮の歴史の景観
△商店街の景観
△歴史の景観
△歴史の景観

■景観形成の目標

① 大通りの歴史を映す、低層の街並みを保全します。

② 市民の生活、親しみを感じる景観をつくります。

③ 田川沿いの開放的な景観を守り活かします。

④ 景観づくり、まちづくり体制を整えます。

■景観形成の方針

① 大通りの歴史を映す、低層の街並みを保全します。

② 市民の生活、親しみを感じる景観をつくります。

③ 田川沿いの開放的な景観を守り活かします。

④ 景観づくり、まちづくり体制を整えます。

■景観形成のイメージ

現状
将来の景観イメージ

■景観形成のイメージ

現状
将来の景観イメージ

■ 1 ページ目

- 当該地区の景観特性を写真とともに整理しています。
- 景観特性をふまえ、アンケート調査結果や地区別検討会での意見から、当該地区の景観づくりキーワードを示しています。

■ 2, 3 ページ目

- 当該地区の「将来目標像」および「景観づくりの目標」を記載しています。

将来像イメージと景観形成の目標を示しています。

景観づくりの目標

■ 将来目標像

大通りの歴史、市民の生活を感じる身近な街・宮の橋地区

■ 景観づくりの目標

① 大通りの歴史を映す、低層の街並みを保全します。

② 市民の生活、親しみを感じる景観をつくります。

③ 田川沿いの開放的な景観を守り活かします。

④ 景観づくり、まちづくり体制を整えます。

■ 景観形成のイメージ

現状
将来の景観イメージ

■ 景観形成のイメージ

現状
将来の景観イメージ

■ 4 ページ目以降

- 景観づくりの目標ごと、【景観づくりの考え方】および、【景観づくりの具体方策】を事例写真等とともに示しています。

景観づくりの方針

① 大通りの歴史を映す、低層の街並みを保全します。

【景観づくりの考え方】

■ 景観づくりの具体方策

① 低層の店舗が建ち並ぶ高さを引き継ぎ、JR宇都宮駅からの人の流れを誘う、まとまりのある景観をつくります。

② 市民の生活、親しみを感じる景観をつくります。

③ 田川沿いの開放的な景観を守り活かします。

④ 景観づくり、まちづくり体制を整えます。

1. 宮の橋地区

■ 区間

宮の橋～上河原通り町交差点

■ 主な組織

宮の橋商店街、小袋町自治会、上河原町自治会



景観特性

- JR宇都宮駅から二荒山神社へ向かう場合、本地区は大通りの玄関口・顔にあたります。
- 大通り沿道の旧来の街並みを今に伝える、低層木造建築物の街並みが残ります。
- 寺院、旅館等歴史的建造物が立地します。
- 田川のひろがりのある景観が展開します。



宮の橋JR宇都宮駅側から本地区を望む



低層の店舗が建ち並ぶ、大通りの旧来の景観



生活感のある身近な店舗



宝蔵寺(およりの鐘)の歴史的景観



旅館藤江の歴史的景観



ひろがりのある田川の景観

景観づくりのキーワード

地区の主なご意見 ○:良い、△:改善

大通り全体

- 大通りは見通しがよく歩きやすい
- △ 歩道の駐輪 △ 鉢植え緑の放置
- △ アーケードの整備方針が不在 △ 落書き
- △ 駐車場不足 △ 空き店舗が多い
- △ 各地区のまちづくりビジョンの不在
- △ JR駅から二荒山神社までの連続性不在

大通り全体の
景観づくりの目標

宮の橋地区独自

- 生活のにおいのする街並み、小売店便利
- 歴史的な建築物等残す(旅館、寺院)
- 田川の景観
- 昔の祭りの復活、既存まつりとの連携
- △ 旧町名を復活させる
- △ 商店街活動が休止中(自治会、商店街等が連携してまちづくりを行うべき)

景観現況調査結果

【宮の橋地区の景観特性】

- ◆ 大正・昭和初期の時代の街並みを今に伝える、低層建築物が連続する景観
- ◆ 田川のうるおいある、開放的景観
- ◆ JR駅から二荒山神社方面への玄関口の役割を担う空間

昔日の街並みを継承し、親しみを感じさせる、玄関口としてふさわしい景観づくり。田川との連携。

景観づくりの目標

■ 将来目標像 ■

大通りの歴史、市民の生活を感じる身近な街・宮の橋地区

昔日の街並みを継承し、親しみを感じさせる、大通り地区の玄関口としてふさわしい街並みを形成します。

田川沿いはうるおいのある開放的な景観を形成します。

■ 景観づくりの目標 ■

1 大通りの歴史を映す、低層の街並みを保全します。

- ①低層の店舗が建ち並び高さを引き継ぎ、JR 宇都宮駅からの人の流れを誘う、まとまりのある景観をつくります。
- ②歴史的資源を守り活かします。
- ③宮の橋地区を思い起こさせるしかけをつくります。

2 市民の生活、親しみを感じる景観をつくります。

- ①1階部はにぎわいのある街並みをつくります。
- ②店先に花を育みます。
- ③駐車場フェンス等を緑化します。
- ④地区、店舗に関する情報を積極的に発信します。

3 田川沿いの開放的な景観を守り活かします。

- ①田川の風情を感じる景観を守り、活かします。

4 景観づくり、まちづくり体制を整備します。

- ①地域組織の連携体制を整えます。

■ 景観づくりの目標イメージ ■



現状



1-① 低層の店舗が建ち並ぶ高さを引き継ぎ、JR 宇都宮駅からの人の流れを誘う、まとまりのある景観をつくります。

2-① 1階部はにぎわいのある街並みをつくりま
す。

2-② 店先に花を育みます。

2-③ 駐車場フェンス等を緑化します。



将来の景観像イメージ

2-① 老朽アーケードをオーニングテントで代替し、低層部ににぎわい楽しさの演出します。アーケード支柱後に街路樹を補植します。

1-① 歩道街灯の充実化、統一フラッグを掲示します。フラッグには大通りらしいデザインを採用します。

2-① 安全で歩きやすい歩行空間の創出します。歩道の高質化(舗装、緑化、照明、バス停等)を図ります。

□ : 宮の橋地区の景観づくりの目標関連 □ : 大通り全体の景観づくりの目標関連

1 大通りの歴史を映す、低層の街並みを保全します。

【景観づくりの考え方】

昔日の大通り沿道の景観を今に伝える本地区において、低層の店舗が建ち並ぶ街並みを保全するとともに、土地の高度利用を図る際は、低層部の街並みの連続性に配慮します。

【景観づくりの具体方策】

①低層の店舗が建ち並ぶ高さを引き継ぎ、JR宇都宮駅からの人の流れを誘う、まとまりのある景観をつくります。

- 低層の店舗が建ち並ぶ区間の建築物の高さの調和に配慮します。
- 中高層の建築物に更新する場合、3階以上を後退するなど、低層の店舗が建ち並ぶ景観を継承します。
- 周辺景観と調和し、まとまりのある色彩景観を形成します。
- 二荒山神社の祭祀や宮まつり時にフラッグを掲出し、フラッグや台座に旧町名を示すなど、大通り全体のまとまり、宮の橋地区独自の景観を感じさせる景観を形成します。



現状



建物高さ継承、色彩調和



イベント時に統一フラッグ掲出

②歴史的資源を守り活かします。

- 宝蔵寺(およりの鐘)、旅館藤江等の歴史的資源を保全します。
- 大通りを軸に、上記歴史的資源や特徴のある店舗(干瓢専門店、手芸店等)を紹介するとともに、旧篠原家住宅等近隣の資源とも連携し、宮の橋地区のまち歩きを促します。



干瓢専門店



手芸専門店



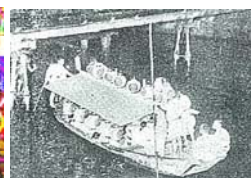
宝蔵寺(およりの鐘)の歴史的景観



昔日の街並みを想起させる旅館藤江

③宮の橋地区を思い起こさせるしかけをつくります。

- 初市など、地区独自のまつりを景観づくりに活かします。(上河原通りと大通りの交差点部での情報提供機能の充実等)。
- 田川での花火・梵天等の地域のまつり、成田山での縁日等、地域イベントを復活・活用し、にぎわいのある景観を形成します。
- 旧町名を積極的に利用します。



* 1) 出典：「昔日の宇都宮」(随想舎、1997)

2 市民の生活、親しみを感ずる景観をつくります。

【景観づくりの考え方】

鮮魚店、精肉店、果物店等、市民の生活に身近な低層の店舗が建ち並び、にぎわいが連続し、緑豊かな親しみを感ずる景観を形成します。

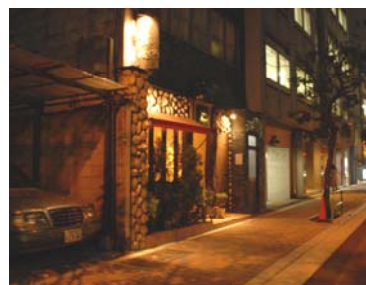
【景観づくりの具体方策】

① 1階部はにぎわいのある街並みをつくります。

- 事業所においては、1階に飲食店を配置するなど、低層部におけるにぎわいの連続性に配慮します。
- 1階部分はショーウィンドウ等により、内部の商業活動を見えやすくするなど、通りのにぎわいを増す景観を形成します。夜間は店舗の光が外を照らす明るい通りを形成します。



低層店舗の街並み



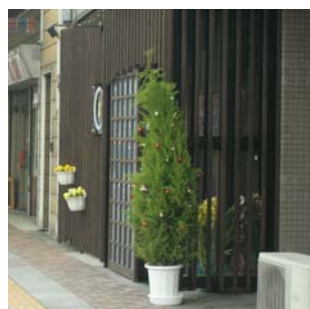
夜間の店舗の照明



身近な店舗の景観

② 店先に緑を育みます。

- 店先に花を飾るなど、四季を感じさせる、うるおいある景観を形成します。



四季を感じることができる店先に花がある景観

③ 駐車場フェンス等を緑化します。

- 駐車場と歩道との境界部は緑化するなど、街並みの連続性に配慮します。



駐車場のフェンスの緑化イメージ

④ 地区、店舗に関する情報を積極的に発信します。

- 地区内共通デザインのサインにより、各店舗前で地区、店舗の歴史を紹介します。



店舗紹介サインイメージ

出展：www.jagworks.jp

3 田川沿いの開放的な景観を守り活かします。

【景観づくりの考え方】

田川に架かる宮の橋からの開放的な眺めを保全するとともに、河川沿いプロムナードに花を育むなど、うるおいのある、歩きたくなる景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

① 田川の風情を感じる景観を守り、活かします。

- 田川における芝桜の植栽など、うるおいのあるプロムナードを形成します。
- 照明を充実し、夜も散策できるプロムナードを形成します。
- 田川に面した建築物は、田川側の壁面のデザインに配慮し（建物の背面的なデザインとしない）、川沿いに魅力ある景観を形成します。
- 田川沿いの建築物において、田川に向く窓面の内側から広告物等を田川に向けて表示しないように配慮します。
- 落書きを防止します。



プロムナードに芝桜が育まれる、うるおいのある人工河岸の景観



プロムナードでのテントによる憩いの空間イメージ



河川方向に開くデザインイメージ



プロムナードの照明イメージ

出展：徳島県 H.P.

4 景観づくり、まちづくり体制を整備します。

【景観づくりの考え方】

既存の組織の連携により、景観づくり、まちづくりを推進する地域組織を整えます。

【景観づくりの具体方策】

① 地域組織の連携体制を整えます。

- 自治会、商店街が一体となり、宮の橋地区の景観づくり、まちづくりを推進します。
- 他の祭りとの連携方策検討、かつての地域の祭りの復活を図り、景観づくり、地域づくりのきっかけとします。

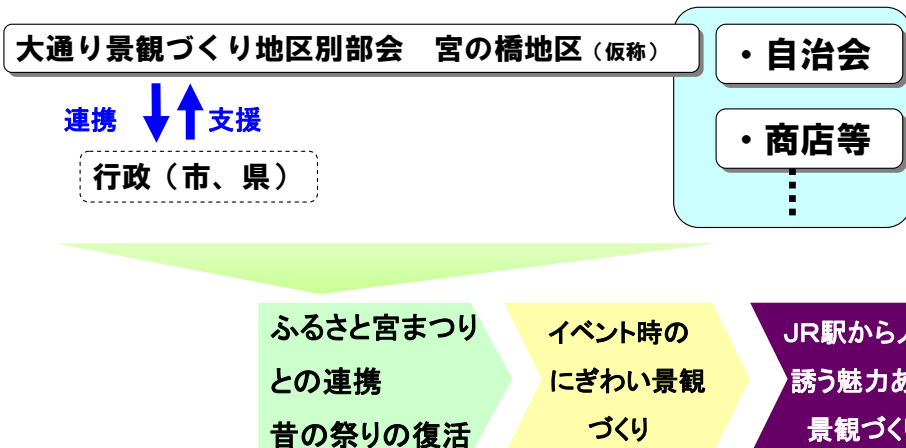


図 地域組織の連携イメージ

1 宮の橋地区の景観づくりの目標：大通りの歴史、市民の生活を感じる身近な街・宮の橋地区

1 大通りの歴史を映す、低層の街並みを保全します。

① 低層の店舗が建ち並び高さを引継ぎ、JR宇都宮駅からの人の流れを誘う、まとまりのある景観をつくります。

- ◆建築物の高さの調和
- ◆周辺景観と調和するまとまりのある色彩の採用

●昔日の宮の橋付近の眺め *1



●現状



- ◆統一フラッグ掲出



●イベント時に統一フラッグ掲出

② 歴史的資源を守り活かします。

- ◆宝蔵寺（およりの鐘）、旅館藤江等の歴史的建造物の保全



●宝蔵寺（およりの鐘）



●旅館藤江

- ◆特徴ある店舗の紹介等によるまち歩きの促進



●干瓢専門店



●手芸専門店

③ 宮の橋地区を思い起こさせるしかけをつくります。

- ◆初市など地区独自のまっりの活用
- ◆田川の花火や梵天祭り等、昔日のまっりの復活
- ◆旧町名の復活



●梵天まつり復活イメージ



●かつての舟遊び風景 *1



●旧町名表示イメージ



宮の橋地区の景観づくりイメージ

3 田川沿いの開放的な景観を守り活かします。

① 田川の風情を感じる景観を守り、活かします。

- ◆うるおいのあるプロムナードの形成



●田川の芝桜



●プロムナードでのテントによる憩いの空間イメージ



●プロムナードの照明イメージ

出展：徳島県 H.P.

- ◆田川に面する壁面デザインの魅力向上



●河川方向に開くデザインイメージ



●大谷石の橋と調和する、大谷石外壁

- ◆橋や橋詰空間の活用



●橋上空間活用イメージ（まつり）

出展：釜石市 H.P.

4 景観づくり、まちづくり体制を整備します。

① 地域組織の連携体制を整えます。

- ◆自治会、商店街等による地域組織の体制づくり

- ◆まつりの復活等を契機とした景観づくり、まちづくりの開始

大通り景観づくり地区別部会 宮の橋地区（仮称）

連携 ↓ ↑ 支援

行政（市、県）

・自治会

・商店等

ふるさと宮まつりとの連携
昔の祭りの復活

イベント時にぎわい景観づくり

JR駅から人を誘う魅力ある景観づくり

2 市民の生活、親しみを感じる景観をつくります。

① 1階部はにぎわいのある街並みをつくります。

- ◆低層部に飲食店を配置するなど、にぎわいの連続性の確保



●低層店舗の街並み



●身近な店舗の景観

- ◆店舗の照明、街灯による明るい夜間景観の形成

●歩道街灯イメージ



●夜間店舗からの光

② 店先に花を育みます。

- ◆四季を感じさせるうるおいのある景観の形成



●店先のみどり



③ 駐車場フェンス等を緑化します。

- ◆みどりによる街並みの連続性の確保



●現状



●フェンス緑化イメージ

④ 地区、店舗に関する情報を積極的に発信します。

- ◆地区内共通デザインのサインによる、各店舗前での地区、店舗の歴史の紹介



●店舗紹介サインイメージ
出展：www.jagworks.jp

